

新年は「六幸おせち」

鹿嶋市宮中の清真学園高(飯山克則校長)の生徒たちが昨年(2019年)に続き、食材豊富な鹿行地域を表現した「六幸おせち」を企画した。シラスや地元ブランドの「かしまし豚」などを活用。生徒たちは「新年を清真学園のおせちで迎えてほしい」とアピールしている。

鹿嶋・清真学園高生が考案

200個販売

おせちの企画は「起業ゼミ」の一環で行われ、3年生1人、2年生3人の有志が参加した。2月から製造元の調整を重ね、レシピを考案して、試食を行い完成させ、パンフレットに掲載する紹介記事も考えた。



おせちを考案した清真学園高の生徒たち＝鹿嶋市宮中

前年に続き、キーワードに海、山、風、神、土、人を

置き、「鹿行」にちなんで「六幸おせち」と名付け、サツマイモやレンコンなど本県特産の材料を使用したメニューを並べた。品数は28品。摘果メロンのピクルスなど評判の高かったメニューを残し、入れ替えたりして

地元食材豊富に28品

昨年よりも2品増やした。生徒たちによると、卵などの食材費の高騰や、冷凍に不向きな食材もあり、提案したレシピが全て採用とはならなかったが、最終的には茨城の魅力が詰まったおせちになったという。2年生の高橋晴香さん(17)は「思っていた以上に提案を落とされたが、とてもいい経験になった。達成感を味わえた」と振り返りながら、「多くの人に味わってほしい」と願った。



清真学園高生が考案したおせち

販売は東武トップツアー

ズ。価格は1万7800円

(送料込み)。2段重ねで、

2〜3人用。予定販売数は

200個。申し込み締め切

りは12月1日。届け日は同

30日。(小池忠臣)

出所：11月16日(木) 茨城新聞 地域版